



3 TRUMPETS & PIANO

QUARTET MADE IN FUKUSHIMA

2016.9/15 (木)
10:00~ 郡山市民文化センター 大ホール

SHOSHI

平成28年度
尚志高等学校 文化的行事

QUARTET MADE IN FUKUSHIMA

X SHOSHI

トランペット3本とピアノ+パーッカッショ�이による楽器演奏

第I部

QUARTET MADE IN FUKUSHIMA CONCERT with 相川 瞳

祝典序曲／ショスタコーヴィチ (arr.加納久仁子)
Festive Overture Op.96/D.Shostakovich (arr. Kuniko Kanoh)

ボレロ／ラヴェル
Bolero/M.Ravel

剣の舞 (バレエ『ガイーヌ』より)／ハチャトゥリアン
Sabre Dance (Ballet "Gayane") /A.Khachaturian

愛の夢 第3番／リスト
Liebesträume/F.Liszt

巷の市民公園／本田祐也

カルメンより／ビゼー⁺
Carmen/J.Bizet

尚志高校吹奏楽部とQUARTET MADE IN FUKUSHIMAのコラボレーション

第II部

尚志高校 吹奏楽部 X QUARTET MADE IN FUKUSHIMA

トランペット吹きの休日／アンダーソン
Bugler's Holiday/L.Anderson

オンブラ マイ フ (オペラ『セルセ』より)／ヘンデル
Ombra mai fù (Opera "Serse")/G.Händel

シング シング シング／プリマ
Sing Sing Sing/L.Prima

QUARTET MADE IN FUKUSHIMA カルテットメイドインフクシマ

福島県出身のトランペット奏者、佐藤秀徳、阿部一樹、川田修一の3人と、ピアニスト大野真由子で結成されたアンサンブルグループ。“ふるさとへの感謝”、“音楽文化の更なる発展”、また“こどもたちへ夢を”というテーマを持ち演奏活動している。2010年、2012年に「四季の風コンサート（郡山市公会堂）」2014年「こぐま座コンサート（星総合病院メグレズホール）」に出演。2013年には、佐藤、阿部、川田3人が所属していた郡山ジュニアフィルハーモニー・オーケストラの定期演奏会にゲスト出演した。2015年、郡山市中央公民館多目的ホールのオープニングコンサートに出演。また、県内の小中学校でスクールコンサートを開催。レパートリーはバロックから歌謡曲まで数十曲に及び、中でも多くのオリジナルアレンジは、親しみやすく且つトランペットとピアノの魅力を存分に盛り込んだ内容で注目を集めている。2015年8月、ファーストアルバム「Quartet Made in Fukushima」発売。ファーストアルバム発売にあたり、福島・東京でリリースツアーを行い、各地で好評を博した。



阿部一樹

Kazuki Abe, Trumpet

1983年福島県生まれ。9才よりトランペットをはじめる。福島県須賀川市立第一小学校、中学校を経て、東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校及び同大学器楽科卒業。

これまでにトランペットを内藤知裕、杉木峯夫、佐藤友紀、福田善亮、David Herzogの各氏に師事。

在学中、芸大メサイア公演及び芸大室内定期公演、別府アルゲリッチ音楽祭、日露学生フォーラム（モスクワ）参加。2013年渡欧。カタルーニャ高等音楽院（ESMUC）大学院修士課程修了。スペイン・バルセロナでトランペットを、Luis Gonzalez Malti、Mireia Farresの両氏に師事。

在欧中、L'Orquestra Simfònica de Barcelona i Nacional de Catalunya（バルセロナ交響楽団）及びBanda Municipal de Barcelona（バルセロナ吹奏楽団）等に客員出演。現在、シアター・オーケストラ・トーキョー（熊川哲也Kバレエカンパニー）トランペット奏者。VIVID BRASS TOKYOフリューゲルホルン奏者。横浜シンフォニックターシーズンメンバー。東京R合奏団、Brocade Brass Quintet、アンサンブル・スプレモ各メンバー。

大野真由子

Mayuko Ohno, Piano

東京藝術大学音楽学部器楽科卒業、同大学大学院音楽研究科修士課程ピアノ専攻修了。第45・46回鎌倉市学生音楽コンクール第2位、第13回吹田音楽コンクールピアノ部門第1位、第17回友愛トイツリート（歌曲）コンクール優秀共演者賞等受賞。

ソリストとして大阪センチュリー交響楽団、芸大フィルハーモニア等共演。大学卒業時、成績優秀者に与えられる同声会新人賞及び読売新人賞受賞、両新人演奏会出演。

室内楽・伴奏ピアニストとしてもレコードデイリングやアウトリーチコンサート等ジャンルを問わず活動中。

これまでに乙幡理恵、竹中淳子、田中由生子、日比谷友妃子、Gabriel Tacchino、角野裕の各氏に師事。

また作曲を大政直人氏に、室内楽を渡辺健二、北川暁子の各氏に、歌曲伴奏をKonrad Richter氏、ピアノデュオを角野裕氏に師事。

栄区民文化センタークリス・レジデンスアーティスト。

現在、東京藝術大学管楽器科非常勤講師（伴奏助手）及び聖徳大学演奏学科講師。

佐藤秀徳

Shutoku Sato, Trumpet

福島県郡山市出身。

東京藝術大学卒業。現在、オーケストラ、室内楽において演奏を中心に、現代音楽、ジャズ・ポップス・ミュージシャンとのアンサンブルや、レコーディングなど幅広い活動を行っている。特に2013年に参加したNHK連続テレビ小説「あまちゃん」の劇伴音楽は全国的に大きな反響を呼んだ。2009年より東京金管五重奏団員。1999年～2013年までライヴパフォーマンスグループ「チャンチキトルネエド」のメンバーとして、多くのライヴ、イベントに出演。他に、百福合奏団、トレインブレイザーズテンペースプラス、喇叭座、Hero's Brass、大友良英スペシャルビッグバンドのメンバー。

シアターオーケストラトーキョー（Kバレエカンパニー）、横浜シンフォニエッタ、トランペット奏者。アンサンブルノマドレギュラーゲスト。ソリストとして、多摩ウンドオーケストラ、江戸川吹奏楽団と共演。福島県での活動も多く、郡山市民オーケストラ、アマデウス室内管弦楽団、郡山ジュニアフィルハーモニーオーケストラなど、県内の音楽団体、吹奏楽部と多数共演している他、後進の指導にも力を入れている。トランペットを橋本浩規、津堅直弘、杉木峯夫、関山幸弘、ヒロ野口の各氏に師事。国立音楽院講師。

2016年、佐藤紀雄（Gt.）とデュオBarchettaを結成。9/24,25郡山市にて1stコンサート開催予定。

川田修一

Shuichi Kawata, Trumpet

1984年福島県須賀川市生まれ。

須賀川市立第一中学校、安積高校を卒業。国立音楽大学において矢田部賞を受賞し首席で卒業。ならびに弦管打楽器ソリストコースを首席で終了。同大学卒業演奏会、ヤマハ新人演奏会に出演。第78回、81回日本音楽コンクールトランペット部門入選。第25回日本管打楽器コンクールトランペット部門第3位入賞。

第49回ドイツ・マルクノイキルヒエン国際コンクールトランペット部門セミファイナリスト、ディプロマ賞授与。国立音楽大学教授陣によるくにたちフィルハーモニカーとハイドンの協奏曲を共演。

ヤマハ銀座店主催『コンサートシリーズ巧#4』にてソロリサイタル開催。武蔵野文化会館にて「川田修一＆永澤麻衣子(vo)デュオリサイタル」開催。トランペットを北村源三、熊谷仁士、山本英助、ヒロ野口の各氏に師事。

Brass Ensemble ZERO、金管合奏団「宴」、Tromba Aranciaメンバー。

現在、東京藝術大学管弦楽研究部非常勤講師（芸大フィルハーモニアトランペット奏者）。

Guest

相川瞳

Hitomi Aikawa, Percussion

幼少よりピアノ、16歳から打楽器を始める。東京藝術大学音楽学部器楽科打楽器専攻卒業。これまでに打楽器を萱谷亮一、有賀誠門、藤本隆文の各氏に師事。同大学、同声会賞受賞。

2007年、ブルガリアで開催されたプロヴディフ国際打楽器コンクールDUO部門にて2位入賞（1位なし）。

レコーディング、アーティストサポート、現代音楽、ミュージカル等、ジャンルを問わず、マルチな女性パーカッショニストとして活動中である。





日程

9：15	集合・入場開始
9：45	出欠確認
10：05	諸注意
10：10	学校長挨拶
10：15～11：45	音楽鑑賞
11：50～12：00	諸連絡
12：00	生徒解散



マナー

生徒の皆さん、外部施設の利用マナーを身につけると共に、
次の鑑賞心得を遵守し、他人に迷惑をかけることのないようにしましょう。

1. 服装は制服を正しく着用しましょう。
2. 入場後、指定位置にすみやかに着席し、点呼を受けて下さい。
3. 館内での飲食は厳禁です。（チューリングガムについても禁止です。）
4. 大ホールの4階は、生徒立ち入り禁止です。
5. 文化センター内では、携帯電話の電源は切りましょう。
6. 館内では、静かにしましょう。特に演奏中は静粛にして下さい。
7. 各演奏の後には盛大な拍手を送り、熱演に応えましょう。
8. 鑑賞中の「写真・ビデオ撮影・録音」は禁止です。
9. やむを得ずトイレに立つときは静かに、演奏の合間に移動して下さい。
10. 鑑賞中の「外出」は禁止です。早退する必要のある生徒は、予め「許可」をもらっておいて下さい。

